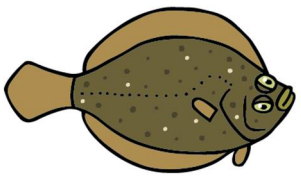
千葉県　沿岸重要水産資源　令和５年度資源評価

マコガレイ（東京湾）



- 東京湾においては，内湾から内房海域で，小型機船底びき網，刺網で漁獲される。
- 産卵期は冬季で，湾奥，神奈川県沿岸，内房などに産卵場があり，湾奥が主産卵場と考えられている。
- 1991 年から種苗放流を実施。

資源評価

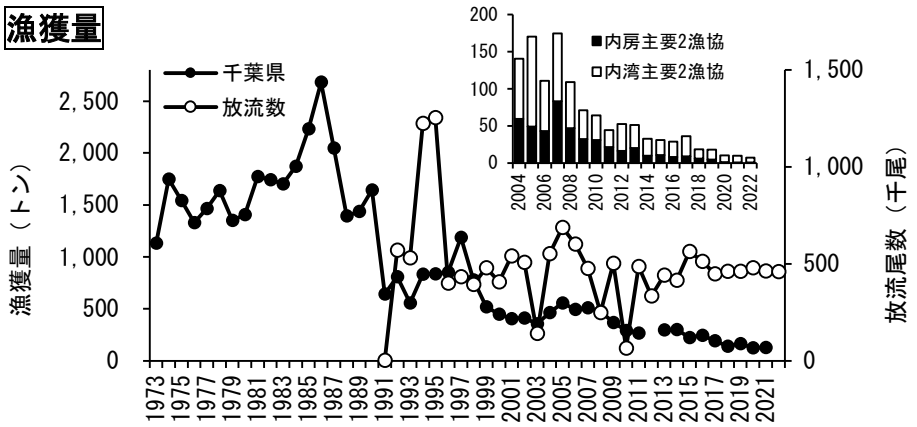
水 準：低位

△

動 向：横ばい

→

漁獲量



かれい類漁獲量，マコガレイ地区別漁獲量及び放流尾数の経年変化

折れ線グラフ：千葉農林水産統計年報（かれい類漁獲量）

棒グラフ：千葉県調べ

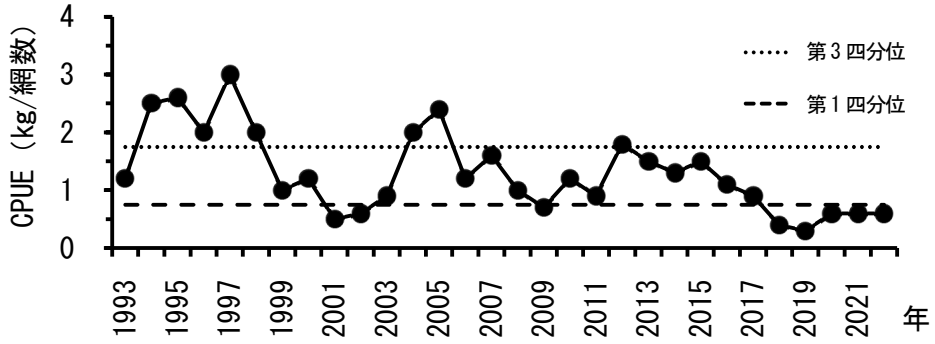
東京湾におけるかれい類の漁獲量は，過去にはイシガレイ主体であったが，その後マコガレイ主体となった。

マコガレイの漁獲量は，長期的に減少傾向にあり，2008 年には 100 トン程度だったが，近年は 10～20 トン程度で低迷している。

注）資源水準は、原則過去 20 年以上の評価指標値（CPUE）から 4 分位により評価した。
資源動向は、最近 5 年間の評価指標の近似式から年間 5%以上の増減の有無により判断した。

資源評価の判断

- 資源水準及び動向は，小型機船底びき網の操業日誌から集計した CPUE（1 網当たりの漁獲量）で判断した。
- 2022 年の資源水準は低位，最近 5 年間の資源動向は横ばい傾向にある。



小型機船底びき網の標本漁船によるマコガレイの１網当たり漁獲量（kg/網数：CPUE）の経年変化

標本漁船の隻数は年によって変わり，その範囲は 6～16 隻

資源管理の取り組み

- 内湾の小型機船底びき網では，休漁日の設定及び漁具の制限，稚魚や産卵親魚の保護のための禁漁区設定，県との稚魚分布調査など，漁業者による自主的な資源管理が行われている。また，1991 年から県が種苗放流を行っている。